



和木町に住んで良かった! ずばり紹介! 魅力いっぱいの和木町にきっと住んでみたくなる!

Check!

01

教育

こどもが安全でのびのびと学べる環境が整っています!

◎こども園・小・中学校の給食は無料

バランスの取れた栄養価の高い、おいしい給食が無料です。



奨学金貸付制度もあるよ

◎ホームステイ助成

中学校3年生を対象にニュージーランドでのホームステイを実施しています。



◎検定受検料全額助成

子どもから大人まで全町民の英語検定・漢字検定・数学検定、TOEIC・TOEFLの検定料を助成しています。(各検定・年1回・上限あり)

◎こども園・小・中学校の耐震化率100%

十分な耐震性を備えた安全安心な校舎です。



◎こども園・小・中学校間の強い連携

こども園、小学校、中学校が町内に1つずつあります。それぞれが近距離にあるので、連携が強く、継続性をもって『わきっ子』の健全育成に取り組んでいます。

Check!

02

福祉
医療

安心して妊娠・出産・子育てできる充実のサポート!

◎妊産婦・乳幼児健康診査の充実

本来自治体を実施する内容以外に独自に健診を実施しています。

◎風しん予防接種等に関する費用の一部を助成

母子への感染を防ぐため抗体検査、予防接種の費用の一部を助成します。

◎先天性代謝異常等検査採血料公費負担制度

検査の採血料を町が負担しています。

◎出産祝金支給制度

町内に住民票がある方が出産した場合、生まれた新生児の父または母に祝金を支給しています。(第1子3万円、第2子3万円、第3子以降5万円)

◎22歳までの学生(町内在住)の医療費を助成

すべての子育て家庭を支援するため、医療費の個人負担分を公費で負担します。

◎インフルエンザ予防接種の費用を助成

町内に住民票がある中学校3年生と高校3年生が対象です。

◎任意予防接種の費用の一部を助成

小児のおたふくかぜ、インフルエンザ予防接種の費用の一部を助成します。

◎妊産婦タクシー利用料を助成

500円券を10枚(5,000円分)助成します。

◎学校給食における食物アレルギー対応に係る文書料補助制度

毎年度児童等一人につき一回、費用の一部を助成します。(上限3,000円)

がん検診の無料実施も行ってます。



Check!

03

くらし
安全

交通の利便性や住居新築への補助など住みやすさ抜群!

◎周辺地域の拠点「JR和木駅」

通勤・通学やお買い物、スポーツ観戦などにとても便利です。



JR和木駅

◎町内に住宅を建設または購入された方に建設奨励金・利子補給制度

町内に住宅を新築または購入された方に対し、家屋にかかる固定資産税のうち120㎡までの部分の半分の額を建設奨励金として3年間交付します。また、建設資金を金融機関等から借り入れた方に対し、利子の一部を3年間補助します。

防災や防犯の面でも安心



◎創業支援事業補助金

町内に事業所等を設け、新たに事業を開始する個人・法人に補助金を交付しています。

◎防災メール・アプリや防災カメラの設置

防災メール・アプリや防災カメラにより、いち早く災害情報を提供しています。

◎家庭用防犯カメラの設置費補助金

安全で安心なまちづくりの推進を図るため、居住する住宅に防犯カメラを設置した方に補助金を交付しています。
※1住宅5万円(補助対象経費の1/2)

◎町内に防犯カメラを設置

町内の交差点や道路沿いに防犯カメラを設置し、犯罪発生を抑止を図っています。

若者世代の移住・定住者にインタビュー

住んだからこそわかる和木町の魅力は?

安井 絵美さん 元・和木町地域おこし協力隊(初代)



大阪府から移住。現在は、ポスターやパンフレット制作を通じてまちの魅力を発信。盆踊り保存会、商工会青年部など、地域を盛り上げる活動にも参加。

安井さんが感じる和木町の魅力は?

「和木町の魅力は、何といっても交通の便の良さです。大阪から移住した時は車を持っていなかったため、移動手段に電車があることはとても魅力でした。町の良さもありつつ、近隣市町にも買い物やレジャーに行きやすい、都会と田舎の良さを兼ね備えた町だと思います。」

村井 優さん 元・和木町地域おこし協力隊(2代目)

埼玉県から移住。協力隊卒業後、和木町に定住しイベントを通じてまちづくりを手がける「株式会社with PLUS」を設立。

村井さんが感じる和木町の魅力は?

「町全体に明るい雰囲気が流れているところが大好きです。『子育てのまち』として支援が充実していて、町内には子育て世代の方が多いです。だから公園では子どもたちが元気よく遊んでいたり、お母さま方がお話ししていたり…。また町民の皆さんは温かい方々ばかりなので『外から来た人』がすぐに馴染むことができることも和木町の魅力です。」



上野 優樹さん 現・和木町地域おこし協力隊(3代目)

愛知県から移住。令和5年に地域おこし協力隊に着任し、番組制作を通じて和木町の魅力を随時発信中。

上野さんが感じる和木町の魅力は?

「町民の皆さんがとても明るく、住みやすい環境です。普段はケーブルテレビの番組制作をしていますが、町内を歩いていると多くの方から感想をいただきます。また、町内のイベントや講演を拝見すると、質問コーナーでビックリするほど多くの手があがります。何事にも積極的な姿勢を、私も見習いたいと思います。」



魅力満載! 和木町の特産品

「もぶり」
炊いたご飯に混ぜるだけ!
和木町で親しまれる郷土料理!

「やまもソフトクリーム」
和木町の町木である「やまも」の果実を使ったレアなソフトクリーム。コリと甘酸っぱさが口の中に広がります。